資料７－２－２（差替）

まちづくりの方向性４について

施　策（4-⑤）　生涯を通じたスポーツ活動の推進

目指す姿

区民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができる環境の整備、充実を図り、スポーツを通じて人と地域がいきいきと輝いている。

取組方針

スポーツが身近にある社会づくり

区民のスポーツ実施率は近年上昇傾向にありますが、年代やライフステージによる実施率の差も生じており、誰もがスポーツに参加できる機会の充実が求められています。

またコロナ禍の影響により、外出やスポーツ実施機会が減少したことによる体力低下の傾向が見られ、体力向上につながる取組みが求められています。

積極的に外出するきっかけとなるよう、スポーツを楽しむことのできる場の提供や、将来にわたってスポーツを実施するための魅力を感じることができる仕組みを構築していくことが必要です。

また、競技性のスポーツだけでなく、日常生活における運動などもスポーツと捉え、ライフステージや障がいの有無などに関わらず、誰もが多様な形でスポーツに親しむ機会を充実させていくことが必要です。

スポーツに親しむことができる機会の充実と環境整備

○ 区民の誰もが気軽にスポーツに親しむことができるようスポーツ関連団体、民間事業者との連携を深めながら、大会、体験イベントなどの事業を幅広く展開することで、スポーツ参加機会の拡充を図り、生涯を通じたスポーツ活動を促進します。
○ トップアスリートとの交流などの機会を創出することで、次世代を担う子どもたちにスポーツの魅力を伝え、スポーツを通じた豊かな未来づくりのきっかけとします。
○ 児童の体育施設使用料の免除など、スポーツ実施環境の基盤となる区立体育施設の利用促進や充実化を図るとともに、学校施設や公園などの区立施設を有効に活用していきます。子どもから大人まで幅広い世代が、普段の生活のなかにある身近な場所でスポーツに親しむことで、区民の体力の維持、向上につなげていきます。

スポーツを通じた健康で豊かな生活の実現

○ パラスポーツの普及やインクルーシブスポーツ体験機会の充実、スポーツを支える人材の育成や支援を行うことで、スポーツによる地域交流が促進され、人と人との結びつきがより強固となった持続可能な社会の実現を目指します。
○ アーバンスポーツの普及、学校部活動の地域移行など、多様化するスポーツの姿や実施形式を的確に捉えていきます。また、孤立を防ぐサードプレイスとして様々な形でスポーツを楽しめる場を提供していきます。
○ 生涯を通じて誰もが健康で活力に満ちた生活を営むため、子どもたちのマルチスポーツ体験などを促進し、運動習慣の定着を図ります。また、フレイル対策において最新技術を用いたスポーツを活用するなど、人と社会のつながりを築いていきます。

【施策の効果を表す代表的な指標】

検討中（指標設定チェックシート中の指標から選定予定）

施策チェックシート

1. 施策名

	旧	新
施策名	スポーツ・レクリエーション活動の推進（8－2－2）	生涯を通じたスポーツ活動の推進

2. 施策のポイント

現状	課題	取組方針
①年代やライフステージによるスポーツ実施率の差 ②外出やスポーツ実施機会の減少による体力の低下傾向	①誰もがスポーツに親しんでもらうための効果的なアプローチ ②健康で豊かな生活実現のため、生涯を通じスポーツに親しむための仕組み作り	①スポーツに親しむことができる機会の充実と環境整備 ②スポーツを通じた健康で豊かな生活の実現

3. 現計画における主な事業

計画事業
生涯スポーツ推進事業（349）
スポーツ施設の管理・運営（350）
スポーツ・レクリエーション活動の振興（351）
学校開放事業（352）
千早スポーツフィールド整備事業（353）
その他事業

施策チェックシート

4. 環境変化（社会動向・法改正・背景等）

◇健康増進、体力の維持、増進に関する意識が高まりを見せているものの、区内で思いきりスポーツが実施できる環境が十分とは言えない。
◇アーバンスポーツ、ニュースポーツなど、新たなスポーツが登場するなか、スポーツ活動の定義を広く捉える傾向が見て取れる。

5. 区民・関係団体等の声

区民・関係団体等の声	①区のスポーツ振興のため、各種スポーツ行事・大会・教室を開催してほしい（R5.9　豊島区民のスポーツに関する意識調査） ②子どもたちが気軽に運動ができるスポーツ環境の整備（R5　子どもレター、豊島区民による事業提案制度）
施策に反映させた点	①各種スポーツ大会や体験イベントの実施。区立体育施設の個人利用に係る子ども料金の無料（減免）。トップアスリートとの交流。 ②多様化するスポーツの姿や実施形式の把握。スポーツを通じた持続可能社会の実現。最新技術を用いたスポーツの活用。

6. 基本構想の3つの理念を意識した点　※現時点での構想案は別紙参照

(1)「誰もがいつでも主役」を意識した点【平和・人権、多様性の尊重】	○区内スポーツ関連団体や民間事業者など、多くの主体と連携を図ることで、年齢、性別、障がいの有無などに関わらず、誰もがスポーツに親しむことができる環境の構築について明記した。
(2)「みんながつながる」を意識した点【参画・協働・共創】	○スポーツ活動を通して将来目指すまちの姿を実現するためには多様な主体と連携していくことが不可欠であり、また、スポーツは人と人の結びつきを生み、地域交流の促進や持続可能社会の実現に貢献するものであることを明記した。
(3)「『としま』らしさがあふれる」を意識した点【文化・歴史の継承、地域特性の活用】	○子どものスポーツ実施環境の充実について触れ、子どもから大人まで幅広い世代がスポーツに親しむことで、生涯を通じて誰もが健康で豊かな生活を実現することにつながることを明記した。

指標設定チェックシート

施策名	4－⑤	生涯を通じたスポーツ活動の推進
部課名	文化商工部　学習・スポーツ課	

【1. 目指す姿、取組方針と指標の対応関係】

目指す姿	取組方針		定量的評価				定性的評価
			成果指標		活動指標		数値目標では捉えられない／数値化できない評価の視点
区民の誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことができる環境の整備、充実を図り、スポーツを通じて人と地域がいきいきと輝いている。	（1）	○区民の誰もが気軽にスポーツに親しむことができるようスポーツ関連団体、民間事業者との連携を深めながら、大会、体験イベントなどの事業を幅広く展開することで、スポーツ参加機会の拡充を図り、生涯を通じたスポーツ活動を促進します。 ○トップアスリートとの交流などの機会を創出することで、次世代を担う子どもたちにスポーツの魅力を伝え、スポーツを通じた豊かな未来づくりのきっかけとします。 ○児童の体育施設使用料の免除など、スポーツ実施環境の基盤となる区立体育施設の利用促進や充実化を図るとともに、学校施設や公園などの区立施設を有効に活用していきます。子どもから大人まで幅広い世代が、普段の生活のなかにある身近な場所でスポーツに親しむことで、区民の体力の維持、向上につなげていきます。	①	「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」と思う区民の割合【%】	③	区立体育施設利用者数【人】	・スポーツの力を活用した地域コミュニティの醸成、地域交流の促進。 ・スポーツ活動に関する意識、行動変容。
			②		④	スポーツ関連事業の実施回数【回】	
	（2）	○パラスポーツの普及やインクルーシブスポーツ体験機会の充実、スポーツを支える人材の育成や支援を行うことで、スポーツによる地域交流が促進され、人と人との結 びつきがより強固となった持続可能な社会の実現を目指します。 ○アーバンスポーツの普及、学校部活動の地域移行など、多様化するスポーツの姿や実施形式を的確に捉えていきます。また、孤立を防ぐサードプレイスとして様々な形 でスポーツを楽しめる場を提供していきます。 ○生涯を通じて誰もが健康で活力に満ちた生活を営むため、子どもたちのマルチスポーツ体験などを促進し、運動習慣の定着を図ります。また、フレイル対策において最新技術を用いたスポーツを活用するなど、人と社会のつながりを築いていきます。	①	「生涯スポーツ推進事業」への参加者数【人】	③	「生涯スポーツ推進事業」の実施事業数【事業】	・スポーツによる健康寿命の延伸、医療費や介護費用の抑制などの効果。 ・スポーツ活動に関する意識、行動変容。
			②		④	区立体育施設利用者数【人】	

【2. 施策の効果を表す代表的な指標】

			指標名	単位	2023 実績値	2024 目標値	新基本計画期間(2025-2029) 2025 目標値	2026 目標値	2027 目標値	2028 目標値	2029 目標値	後期計画と同じ指標→継続 新計画で新規設定→新規	(左記、継続の指標のみ) 後期計画の施策番号・施策名
取組方針(1)	成果指標	①	「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」と思う区民の割合	%	16.3	29.0	30.0	31.0	32.0	33.0	34.0	継続	8-2-2スポーツ・レクリエーション活動の推進
	成果指標	②											
	活動指標	③	区立体育施設利用者数	人	1,204,801	1,400,000	1,450,000	1,500,000	1,520,000	1,540,000	1,560,000	継続	8-2-2スポーツ・レクリエーション活動の推進
	活動指標	④	スポーツ関連事業の実施回数	回	3	4	5	6	7	8	9	新規	
取組方針(2)	成果指標	①	「生涯スポーツ推進事業」への参加者数	人	3,568	4,000	4,500	5,000	5,250	5,500	5,750	新規	
	成果指標	②											
	活動指標	③	「生涯スポーツ推進事業」の実施事業数	事業	21	22	23	24	25	26	27	新規	
	活動指標	④	区立体育施設利用者数	人	1,204,801	1,400,000	1,450,000	1,500,000	1,520,000	1,540,000	1,560,000	継続	8-2-2スポーツ・レクリエーション活動の推進

指標			指標の算出方法	指標の設定理由(施策目標との関係)	出典
取組方針(1)	成果指標	①	区民意識調査において「地域でスポーツに親しむ環境や機会がある」の質問に「どちらかというとそう思う」と回答した人の割合	区民がどれくらいスポーツに親しんでいるかを測る指標であるため。	協働のまちづくりに関する区民意識調査
	成果指標	②			
	活動指標	③	区立体育施設の利用者統計の合算数	スポーツの活動量を示す指標であるため。	所管課データ
	活動指標	④	としまスポーまつり、目白ロードレース、民間事業者(東京ヴェルディ等)との連携事業の実施回数	スポーツに親しむことのできる機会が充実しているかを測る指標であるため。	所管課データ
取組方針(2)	成果指標	①	「生涯スポーツ推進事業」各事業参加者の合算数	子どもから大人まで、生涯を通じてスポーツに親しむために必要な環境づくりができているかを測る指標であるため。	所管課データ
	成果指標	②			
	活動指標	③	「生涯スポーツ推進事業」の実施事業数の合算数	子どもから大人まで、生涯を通じてスポーツに親しむために必要な機会が充実しているかを測る指標であるため。	所管課データ
	活動指標	④	区立体育施設の利用者統計の合算数	スポーツの活動量を示す指標であるため。	所管課データ